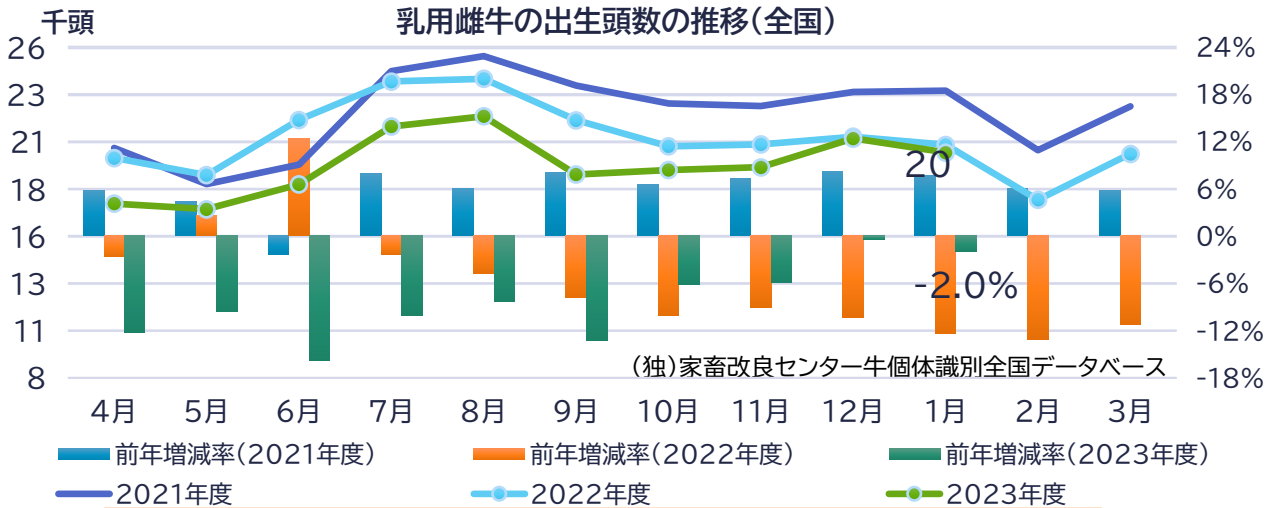


Jミルク2024年度新規事業 中期的な乳用後継牛確保の推進事業のご案内

Jミルクでは、乳用牛頭数の減少や子牛の市場価格の低迷を受け、2025年度以降の乳用後継牛が減少する見通しとなっております。2026年度以降の牛乳乳製品の安定供給に影響する恐れがあり、中期的に生乳生産を支える乳用後継牛を確保する必要があることから、肉用種から乳用種への一定程度の授精の増加を目指した「中期的な乳用後継牛確保の推進」を実施することといたしました。ぜひ本事業をご活用いただき計画的な乳用後継牛確保へのご協力をお願いいたします。



乳用雌牛の出生頭数は2022年7月以上減少傾向が続いています！

乳用牛の後継牛確保を計画的に確保するため、肉用種の人工授精(またはET)から、乳用種への授精の後押しするため、2024年度の乳用種の授精回数(またはET)を前年度から107.5%以上増加させた酪農家に対して支援を行います。

支援対象の要件

2023年5月～2024年2月	A.乳用種授精回数+ET回数
2024年5月～2025年2月	B.乳用種授精回数+ET回数
増加率	$B \div A = 107.5\%$ 以上

※授精回数を申請には、あらかじめどの帳票で記録をしているかなど事前に要件確認を行います。

助成金額

2025年2月1日の経産牛頭数	
100頭未満	10万円以内
100頭以上	20万円以内

※対象戸数や予算の進捗状況などにより減額になる場合があります。

107.5%以上となる乳用種授精(移植)回数の例

2023年度 60回 ⇒ 2024年度 65回増加率108.3% (前年度よりも5回増加で支援対象)
 2023年度120回 ⇒ 2024年度129回増加率107.5% (前年度よりも9回増加で支援対象)

事業への参加申し込み方法

本事業の参加申込書の事業参加のご確認事項をご確認いただき必要事項をご記入のうえ、ご案内のあった所属農協等にご提出ください。
 後継牛確保に向けて本事業のご活用よろしくをお願いいたします。

Jミルク酪農生産基盤強化総合対策事業・中期的な乳用後継牛確保の推進事業 事業参加申込書

Jミルクが実施する当該事業について以下の通り申し込みます。 提出日 年 月 日

申請者氏名	管理者等コード番号	乳用種経産牛頭数(事業申込時点)	ご連絡先(TEL)
-------	-----------	------------------	-----------

2023年5～2024年2月の人工授精(AI)及び受精卵移植(ET)を行った回数をご記入ください。

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
2023年度 乳用種AI											0
2023年度 乳用種ET											0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

助成金申請額 助成金額 ※左欄を確別し金額をご記入下さい。

経産牛 100頭未満 10万円以内 ⇒ 助成金申請額 万円以内

※2024年5月～2025年2月までの授精等の回数が2023年度の申請回数と比較し107.5%以上となった場合に助成金の対象となります。
 ※対象戸数や予算の進捗状況などにより減額になる場合があります。